

# ユニバーサルロボットが選ばれる理由



## 協働ロボットのパイオニア

2008年に世界で初めて協働ロボットを商業化しました。日本含めた全世界累計販売台数は100,000台を突破し、様々な用途において実績とノウハウがあります。

## 優れた拡張性

### UNIVERSAL ROBOTS+



500を超える、接続してすぐ使えるプラグイン周辺機器を提供するUR+というプラットホームを開発しました。これにより、お客様自身による検証・立ち上げ・他用途展開が容易になります。

## 安全性

17種類の安全機能を搭載し、ISO13849-1で規定されたPLdカテゴリ3にフル対応。人の安全を最優先に考えています。

## 優れた汎用性と適応性

独自のプログラミングツールで操作・教示が簡単。ロボット各軸の可動域が±360°あるため、動作の制約が少なく、将来別の用途へ適用する際も、再プログラミング・再配置が柔軟にできます。



UNIVERSAL ROBOTS

## 製品ラインナップ

### UR Series



UR8Long UR15 UR18 UR20 UR30

可搬重量	10kg	17.5kg	18kg	25kg	35kg
最大リーチ	1,750mm	1,300mm	950mm	1,750mm	1,300mm
ロボット重量	44.7kg	40.7kg	39.2kg	64kg	63.5kg
設置面積	Ø204mm	Ø204mm	Ø204mm	Ø245mm	Ø245mm

### e-Series



UR3e UR7e UR12e UR16e

可搬重量	3kg	7.5kg	12.5kg	16kg
最大リーチ	500mm	850mm	1,300mm	900mm
ロボット重量	11.2kg	20.6kg	33.5kg	33.1kg
設置面積	Ø128mm	Ø151mm	Ø190mm	Ø190mm

お問い合わせ  
ユニバーサルロボット日本支社

〒105-0014  
東京都港区芝2-28-8 芝二丁目ビル14階  
TEL: 0120-163510

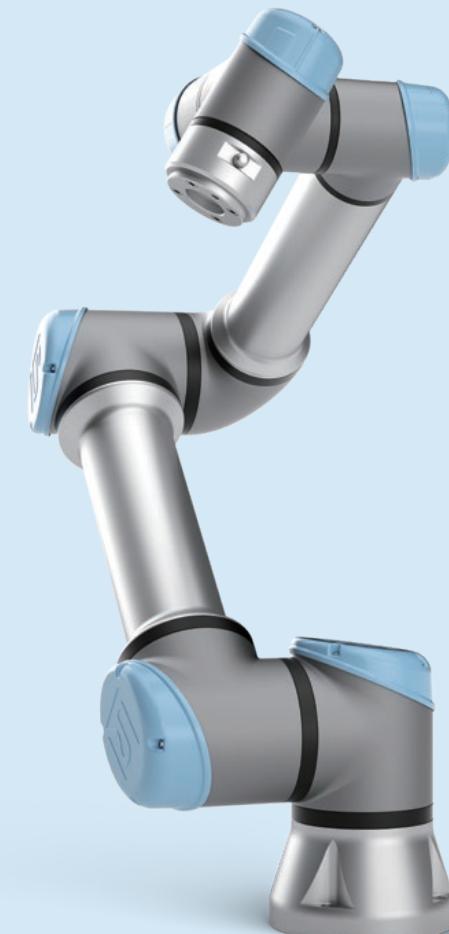
e-mail: [ur.japan@universal-robots.com](mailto:ur.japan@universal-robots.com)  
<https://www.universal-robots.com/ja/>

ウェブサイトは  
こちら



UNIVERSAL ROBOTS

# 協働ロボット 入門ガイド



# その自動化のお悩み、 協働ロボットなら解決できます

## 自動化はできない、とあきらめる前に

年々深刻化する人材不足の対策として、多くの企業が自動化を検討していますが、自動化を阻む要因としてこんなことでお困りではないでしょうか？

1

### ✖ 大量生産じゃない…

多品種少量生産でバッチサイズも様々。需要も季節やプロジェクト要因で変動するため、ロボットや自動機を入れても費用対効果が出せない



2

### ✖ スペースが無い…

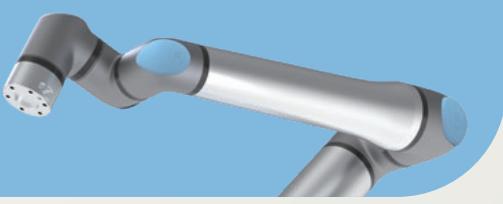
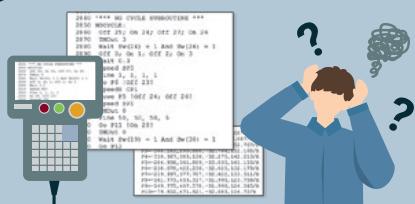
現場のスペースは限られているので、産業ロボットや安全柵等の付帯設備は置けない。レイアウト変更もしたくない



3

### ✖ 時間と費用が…

ロボット未経験でシステム構築は社内ではできないので外注する必要がある。費用もかかるし、立ち上げに何か月もかかりそう



## 協働ロボットとは？

協働ロボットとは、これまでの産業用ロボットで当たり前だった「人とロボットは離れて作業する」という常識を覆す、安全柵無しで人と協働しながら使用できるロボットです。

### ✓ 協働ロボットなら

PLCを使わずにプログラムを作成でき、作業内容に応じてツールを変更可能。小型軽量なのでロボットを移動させることもできる。1台を多用途に適用可能



### ✓ 協働ロボットなら

リスクアセスメントを行うことで安全柵が不要に。大がかりなレイアウト変更をすることなく、人がいたスペースに設置でき、隣で人も協働作業が可能



### ✓ 協働ロボットなら

直感的な操作画面でプログラミングは簡単。無料トレーニングも充実しており、自社内でのシステム構築・運用・修正も可能。立ち上げ工数も大幅に削減



## 協働ロボット導入の よくある誤解と 解決のヒント



## 検討を一步進めてみませんか？

協働ロボットの検討が進まない理由はもしかしたら誤解かもしれません。先行して導入して成果を出している会社はこんな考え方で始めています。

1

### 誤解

#### 協働ロボットで人の作業をそのまま置き換えれば良い

人がやっている作業をそのまま置き換えようとしたが、協働ロボットではできない作業だったり、タクトタイムが遅くなってしまうので、メリットがなさそう

ヒント

待機・休憩時間中の協働ロボット稼働や、治具・配置の見直しで全体最適化する



2

### 誤解

#### 協働ロボットは特定の作業の自動化だけすれば良い

ロボット1台にどの人の作業を置き換えるか考えているが、どれもロボットに置き換えるほど作業量が無いので、メリットがなさそう

ヒント

ツールを持ち替えたり配置換えをすることで1台を複数用途で使い回していく



3

### 誤解

#### 協働ロボットは人件費より高価になる

作業者の人件費と比較すると、協働ロボットのほうがコストが高いのでメリットがなさそう

ヒント

採用・教育・廃棄・手戻りなどの目に見えないコストを協働ロボットで削減する



ヒント

に関する詳細やご質問があればお気軽にお問い合わせください。

